

# 緩和ケア通信 【56号】

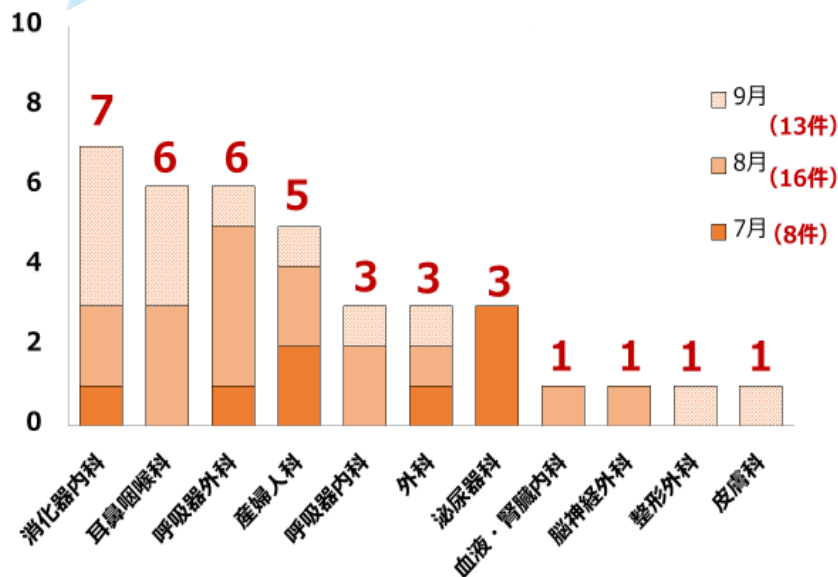


能代厚生医療センター 緩和ケアチーム/緩和ケアサポートスタッフ  
2021年(令和3年) 10月29日 発行

## 1. 緩和ケアチーム依頼



7月～9月 新規依頼 37件



## 7月～9月 緩和ケアチーム かかわりの一例

①50歳代 女性 独居  
家族関係が希薄で、普段は1人で受診していた。身の回りの事ができなくなったため、家族を含めた病状説明の場を設け、現状を理解していただいた。その後、家族の協力を得ながら入院生活を送った。

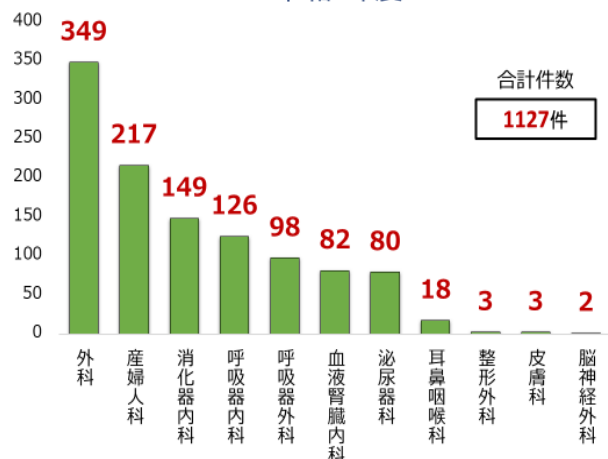
②30歳代 女性 知的障害  
腹部膨満感等があり、チームで苦痛の評価、オピオイド内容や量を適宜調整。施設職員と連携しながら、生活の場を整えた。

## 2. 患者さん支援体制

### 苦痛のスクリーニングについて

- ・がん患者さん入院時に、心身の苦痛の有無をスクリーニングしています。
- ・苦痛がある方は、早期からつらさが和らぐよう対応しています。
- ・緩和ケアを希望される方は、緩和ケアチームが病棟スタッフと協同支援します。

### 苦痛のスクリーニング実施件数 令和2年度



## 3. その他 活動報告

### ① 秋田県緩和ケアチーム WEBカンファレンス

目的: 県内緩和ケアチームの質向上、  
連携強化 (年6回実施)

参加病院: 県内15病院

内容: 9/8テーマ「ACPの取り組み例」  
一般向け講座を地域共同で開催したり  
医療者のACP啓蒙活動を行っていた



### ② 院内勉強会 部署ごとに実施

1. 緩和ケアサポートスタッフ  
看護師対象の勉強会 (9/1)  
「ACPについて」医師1名・看護師8名  
全員が患者役になりACP実践  
終了後意見交換

2. 6A病棟 (10/8)  
「がん患者入院時の流れ」  
看護師 11名

